

インドネシア水道に係る情報収集 No. 211001-1J

検索サイト	Google	実施日	2021/10/01	実施者	TADOKORO
検索方法： インドネシア AND 水環境で検索（インドネシアの水環境と表示される）					
URL： https://www.conservation.org/japan/projects/indonesia-green-wall-project					
<p> 標題： インドネシア グリーン・ウォール・プロジェクト ジャワ島に残された貴重な熱帯林と人々の暮らしを守るために </p> <p> コンサベーション・インターナショナル (Conservation International Foundation) [設立 1987 年；本部 米国ヴァージニア州アーリントン；事業内容：気候変動と生物多様性などに関わる政策提言、保全事業の形成・実施・支援、企業や政府とのパートナーシップによる、途上国の持続可能な発展への支援、企業の CSR 戦略へのアドバイス、広報・普及・啓発] がインドネシアにおいて、ダイキン工業の支援を受けて行っているプロジェクトの紹介。 </p> <p> グヌン・グデ・パングランゴ国立公園とグヌン・ハリムン・サラク国立公園は、インドネシア・ジャワ島西部に位置する合計約 13 万ヘクタールの国立公園。ジャワ島に残された貴重な熱帯林が一带を覆っている。IUCN レッドリストで絶滅危惧種に指定されているジャワギボン、ジャワクマタカ、ジャワヒョウといったこの地域でしか見られない動物にとっての最後の砦であるとともに、都市を含む周辺住民にとっては、雨季には洪水を防ぎ、乾季には水を供給し続ける天然の巨大な貯水池である。 </p> <p> 過去数十年の間に、ジャワ島の多くの森林は、農地への転換や生活を支えるための伐採により失われてしまった。グヌン・グデ・パングランゴ国立公園とグヌン・ハリムン・サラク国立公園の緩衝地帯も荒廃が著しく、1 万ヘクタールが森林再生を必要としている。2008 年にダイキン工業の支援で始まったグリーン・ウォール・プロジェクトは、将来にわたって森林の恵みを人々に届けるための取り組み。プロジェクトを通じてコミュニティ参加型の森林再生・保全のモデルが確立され、広く展開できる段階になった。 </p> <p> 〈森林再生〉 </p> <p> コミュニティと国立公園スタッフと協力し、自生種と果樹を使い、荒廃地での森林再生を進めている。これまでに、300 ヘクタールに 12 万本が植えられた。定期的な管理を続けた結果、多くの木々は大きく育ち、野生動物も帰ってきている。 </p> <p> 〈生活改善と代替生計手段〉 </p> <p> 水源地にありながら、水道が通っていなかった村に簡易水道を設置*するなど、森の恵を届けることで生活の改善を図っている。淡水魚養殖や農業の技術支援、農家組合のトレーニングを行い、収入の向上・安定化を目指している。（* 下線は、情報収集時に付加） </p> <p> 〈取り組みの拡大に向けて〉 </p> <p> グリーン・ウォールの取り組みは、成功モデルとして政府、大学、国際機関に認知されるようになった。広くモデルが使われるよう積極的に研修を受け入れている。取り組みを展開していくには、企業とのパートナーシップの拡大が必須であり、様々な機会を紹介をしている。 </p>					
<p> 備考 ダイキン工業 「空気をはぐくむ森」プロジェクト公式 HP https://www.daikin.co.jp/csr/forests/index.html </p>					